

大阪湾岸の生物部会活動報告（その1）

（文責：りんくう翔南高等学校 村上智加子）

—2018年度 海岸生物観察会の報告—

4月30日（月） 岬町深日 長崎海岸



適度に日が陰って暑すぎず、絶好の観察会日和でした。14校から教員20名、生徒97名の参加でした。

予想外の人数に、駅での集合から2チームに別れて出発し、最初に現地で河添先生から観察会の流れ、注意事項などをお話いただきました。干潮が午後1時頃だったので、先に昼食をとってから、思い思いに観察開始。広い海岸に散らばって、あちこち

で大阪湾海岸生物研究会のメンバーの方に質問しながら生き物を探しました。

この日観察された生き物は、海藻55種、海綿動物6種、刺胞動物6種、扁形動物4種、苔虫動物3種、軟体動物(多板類)8種、軟体動物(腹足類)61種、軟体動物(二枚貝類)11種、軟体動物(頭足類)1種、星口動物2種、環形動物14種、節足動物40種、棘皮動物15種、脊索動物(ホヤ類)13種、脊索動物(魚類)16種（現地で確認された種数）でした。個人的には教科書でよく見るアメフラシの実物を見ることが出来て感激でした。

